

2017年9月22日 第3216回例会

於：よこすか平安閣

【第1部】 18:00 情報集会 A～Eグループに分かれ情報交換会
テーマ「五大奉仕を通じた横須賀ロータリークラブのあるべき姿」



【第2部】

<点鐘・開会> 18:45 小林 会長

<斉 唱> 「我等の生業」

<会長報告> *第3回理事役員会 報告

*国際ロータリー第2780地区 地区大会表彰 記念品贈呈

・長寿会員表彰 ・井 貫/高橋秀行/上林 茂/太田陽三 各会員

*ガバナー事務所より

・2018-19年度実施プロジェクト向け「第1回地区補助金説明会」及び
「補助金管理セミナー（グローバル補助金説明会）」のご案内について

10月28日（土）①地区補助金説明会 13:00～15:00

②補助金管理セミナー 15:15～17:00

於：第一相澤ビル6階「会議室」

<本日の総評> *吉田清情報・研修委員長より

<幹事報告> *職場体験学習引き受けのお願いについて

<出席報告> *出席委員会 福西副委員長より9月22日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
113名	96名	55名	40名	37名	85.19%

<ニコニコ報告>

- ・三 役 情報集会お疲れ様でした。吉田委員長ありがとうございました。
- ・吉田情報・研修委員長 飯塚会員、情報委員会の皆様並びに理事の皆様、今日は宜しくお願い致します。
- ・曾 我、吉田、秋 本、濱 田、岩 瀬、齋藤、池 上、井 莉、渡辺、齋藤、田 邊、北 村、鈴木、福 西、澤 田 各会員
吉田清情報・研修委員長、情報集会の段取り及び設営お疲れ様でした。
- ・三 役 ・井会員、高橋秀行会員、上林会員、太田会員、長寿表彰おめでとうございます。
- ・上 林 会員 長寿会員表彰をいただきました。
- ・野 坂 会員 入会月祝いとして。
- ・三 役 地区大会参加の皆様、大変お疲れ様でした。
- ・谷 会員 先日の地区大会では米山寄付8000万円達成、地区個人平均1位、地区クラブ1位、3つの感謝状を頂きました。皆様のご協力に感謝いたします。
- ・2番テーブル山田マスター、鈴木サブマスター 去る9月15日に2番テーブルミーティングを盛大に開催しました。当日は小林会長、岡田副会長そして物井会員にも参加頂き、すこぶる盛り上がりました。
- ・物 井 会員 9月15日、ダイニングオオシマにて2番テーブルミーティングを行いました。山田マスター、鈴木豊司サブマスターお疲れ様でした。
- ・西村 会員 本日ご利用頂きましてありがとうございます。宜しく願いいたします。
- ・渡辺、小 山 両会員 鎌倉学園野球部、横浜高校をコールドで撃退。祝、ベスト4!!!
- ・岡 田、勝 見、北 村、田 邊、齋藤、福 西、澤 田 各会員 谷会員より写真をいただいて。

懇親会

<乾 杯> 19:00
<斉 唱> 20:15 「手に手つないで」
<閉 会> 20:18 岡田 英城 副会長

情報集会テーマ「5大奉仕を通した横須賀ロータリークラブのあるべき姿」

◇Aグループ（国際奉仕）リーダー：飯塚進一郎 会員 / サブリーダー：石田重藏 会員 / 書記：齋藤眞且 会員

発言者のお名前は省略させていただきました。

◎まず、現在まで活動してきたフィリピンでの口唇口蓋裂縫合手術の活動について国際奉仕として我がクラブの活動で一番に挙げられるのはフィリピンにおける口唇口蓋裂縫合手術に関するV T T活動ではないだろうか。

この活動はV T T活動として認定される以前から約10年間行われてきたが活動自体が専門的であり活動メンバーが特化してしまい、ほんの一握りの会員によって活動されている。もっとクラブの会員全員が取り組めるような活動がないだろうか。

口唇口蓋裂の手術は非常に良いことだとは思いますが、その後のアフターケアをもっと重視したほうが良いのではないだろうか。

フィリピンでは術者に対する資格のハードルが高く、それがメンバーを特化してしまう原因の一つではないだろうか。

口唇口蓋裂に関するV T Tとしては2年間のタームで約5万ドルの予算で今度はマニラで開催できないかを模索中である。ただ、V T Tの活動は単年度の活動に限られてしまう。本部は継続的な活動をと言いながら続けて同じ場所で同じ活動することは認めない。それはおかしいのではないだろうか。

◎他の分野での活動について

国際奉仕と言われても他にどのような活動があるのかわからない。特に転勤組は海外での活動は難しいのではないだろうか。

水の安定供給や識字率の向上、文具やメガネの配布はてっとり早くやはり一般的である。これらはよく行われている。しかし、消防車の寄贈はやりっぱなしの典型である。

タンザニアへの薬の寄贈はかなりのご苦労があったようだ。物が物だけに他国に持ち込むのはかなり厳しい。

大きな手術とは言わずとも抜歯や口腔衛生指導は昔から行われていたようだ。

海外の現地での活動よりも日本国内での活動のほうがやりやすいのではないだろうか。夢のようなことよりももっと身近なことを考えたら。

横須賀在住の外国人に日本語のケアをするのはどうだろうか。

先日卓話のあったバイリンガルのスクールに横須賀の人の参加が少ないというのがあったが、そのようなことへのアプローチはどうだろうか。

業者の利益などがからんでくるので難しいのではないだろうか。

2020年に来日する外国人に対するアプローチをロータリーとして何かできないだろうか。

ポリオ撲滅にまであともう少しだが横須賀クラブとして参加したらどうか。

◎これからの課題

結論として 全体参加型の身近な国際奉仕をさらに模索したらどうだろうか。

◇Bグループ（青少年奉仕）リーダー：加藤元章 会員 / サブリーダー：岩瀬 厚 会員 / 書記：物井宏介 会員

・渡辺 倫 パストガバナー

R I (国際ロータリー)の流れは5大奉仕から、職業奉仕と国際奉仕を社会奉仕へと組み込み、社会、クラブ、青少年の3大奉仕へ統合される予定。それだけ青少年奉仕には重きを置いている証拠。世界的な会員減少の中、女性会員強化(日本の女性会員の割合は6%、加盟国中下から4番目)とローターアクトのロータリーへの正会員への取り込みが議題となっている。

・高橋 倫 会員

当クラブには、学校関係の会員が多く所属されているので、青少年奉仕としては、恵まれた環境。この利点を今後の活動に生かしていきたい。

・井莉 会員

教育者の理想として目指している、他者への奉仕、社会や世界に目を向ける大切さなどは、ロータリーの理念と共通している部分が多く、教育現場にも還元していきたい。

職業体験の機会は、生徒たちに多くの気づきとやる気をもたらす素晴らしい機会。

・岩瀬 会員

ローターアクトの立ち上げから参画した者としては、18歳でロータリーの正会員となるのは、ハードルが高い気がする。人的な交流が大きなメリットとなるクラブにとって、4世代5世代の会員構成をどのように運営していくかが課題。

・北村 会員

次年度会長として、若い世代の考え方を積極的に知り、青少年奉仕の拡充に努めたい。

・小山 会員

ローターアクトはまず、会員増強が課題。共同作業から一体感が生まれる。

インターアクトからローターアクトへの流れが確立できない。インターアクト学友会をそのまま、アクトへと取り組めればいい。アクトがインターアクトへ出向き、講義をする機会が来月あるので、その流れの一助となればといいと思う。

・小林 倫 会長

ローターアクトの対象年齢を引き上げるのも、ロータリー参加を促すいい方法。

ロータリーもアクトも今年度は多めに会員増強に努め、青少年奉仕を継続していく。

・増田 会員

銀行にも若い世代が増えている。ロータリーの青少年奉仕は、『今どきの若い人』を新たな視点でみられるいい機会だと思う。

・加藤 倫 リーダー

限られた時間にも関わらず、参加会員の各立場で、青少年奉仕に関わる多くの有意義な意見を聞かせていただくいい機会となりました。今後のロータリー活動に活かせるように、皆様のご協力をお願いいたします。

・渡辺治夫パストガバナーご紹介のダーウィンの言葉

『 強い者ではなく、変化に対応できる者だけが生き残る。 』

◇Cグループ (社会奉仕) リーダー: 吉田 清 会員 / ヴァンリーダー: 齋藤慎太郎 会員 / 書記: 山田晴史 会員

ロータリークラブが実施する社会奉仕の実践活動に対する条件として①地域社会が本当に必要としているプロジェクトである②クラブ全員の協力が得られるプロジェクトである③毎年異なった新しいプロジェクトである④年度内に完結するプロジェクトである⑤教育的効果を狙って継続的に行われるプログラムとは異なったプロジェクトである。というロータリー百科事典での説明から議題に入る。現在のわれわれメイン社会奉仕活動であり、10回を実施されている10,000mプロムナードクリーン作戦に関しての話し合いを行った。参加してくれる団体はロータリークラブと一緒にできることに意義を感じてくれているとか、規模がどんどん大きくなっているが少し内容を検討してみることも大切であるとか、色々な意見が交換されました。また、この奉仕以前は、少年院に寄贈したり、海風学園や春光学園、日本語学校のお手伝いをしたりとの過去実績も聞くことができた。最後にこの奉仕活動の継続と、新しいもう少し規模の小さい奉仕活動も模索していきましょうとのことで時間となりました。

◇Dグループ (職業奉仕) リーダー: 明野充功 会員 / ヴァンリーダー: 田邊一三 会員 / 書記: 新倉良是 会員

・たくさんの会員が自分の会社に学生の職業体験の受け入れをしている。これはとてもよいことだと思う。
・ロータリー入会当初は自分の仕事をただ行うことしか考えていなかったが、仕事を通じて社会貢献している自覚を持つようになった。
・会社の中での社会貢献は見返りがついてくるが、ロータリーでは直接見返りが無いことを一生懸命行っている。意識のレベルが高い。
・自分の仕事を通じて社会に貢献することが大切。お客様が喜んでくれることが職業を通じての社会貢献につながる。ロータリーに出席することが結果的には職業を通じた奉仕になる。会員お互いが職業で助け合いをしている。
・ロータリーを好きになること、ロータリーの行いが五大奉仕につながる。ロータリーの仲間のすばらしさを大切に。
・入会直後はまず例会に出席し、何かしら学び、職業奉仕についても少しずつ考える。
・職業体験は青少年奉仕と重複している部分もある。毎日一生懸命仕事をするのが職業奉仕ではないのか。利益を出してきちんと納税することも奉仕である。

◇Eグループ (クラブ奉仕) リーダー: 谷 繁信 会員 / ヴァンリーダー: 岡田英城 会員 / 書記: 加藤 淳 会員

5大奉仕の中で「クラブ奉仕」が一番大事である。ロータリーは、「入って学んで、それで外に出て奉仕する」のが基本、クラブ奉仕活動を通じてお互いに切磋琢磨して人間的に成長することが一番大事である。

特に横須賀ロータリークラブのあるべき姿として、「クラブ奉仕」を大事にしている。ロータリーを楽しむためにはクラブ奉仕がしっかりしないと楽しい例会にはならない、それが「社会奉仕」に展開され「国際奉仕」に続いていき、「職業奉仕」に繋がっていく。その意味でもクラブ奉仕は裾野的で重要な役割を担っているものである。

⇒会員同士の関係を深める、活気あるクラブ作りのベースは親睦委員会に繋がる
＜あるべき姿とのギャップを埋めるための取組み(親睦&会報委員の役割)＞

1人でも多く例会に出席頂く(出席率をあげるために何をするか)

- ① 内的: 例会に参加、そしてプログラム活動・地区大会等へ参加しロータリーの良さを理解する。
- ② 外的: 卓話の内容を充実、それを月間プログラムとして会員へ周知し参加頂く。(今年度実施)

※欠席の方へも会報誌を通じて「良さを知って頂く」

- 出席できない理由: 仕事の都合で出席できない方が大半

1人で悩むことなく推薦者のアドバイスを仰ぐ、また推薦者の2名制も検討してもよいのでは。

⇒新会員の皆さんがまず「親睦・会報委員会」に入ってもらっているのもロータリアンとして、クラブ奉仕で様々なことを学び、そして「いかに楽しく参加し、様々な奉仕活動を理解して行動に起こすか」へ繋がっていくものであります。

週報担当 長 坂 利 広